

背景

- ▶ **森林面積95%** 豊かな森林資源を持ち、木曽ひのき産地として木材産業を支えてきた。
- ▶ 『木工の東大』上松技術専門校があり、毎年全国から**木工を志す若者が集まる**。
(40人/年)

現状の課題

- ▶ 木材需要の低下や低賃金化により担い手が不足し、整備されない森が増加。
- ▶ 上松技術専門校を卒業した若者が、町に定住できない。(就職先がない)

事業の目的

CO2排出量削減 **森を守る** **持続可能な町**

- ▶ **木工起業の場を創出し、若者の移住定住を促進する**
- ▶ **地域材を活用した『持続可能な』『脱炭素の』森づくり**

これまでの取り組み

2018年：地域おこし協力隊制度を活用し、上松技術専門校の卒業生2名で木工部を設立。
 2019年：ふるさと納税の返礼品にて協力隊の木工製品を運用・PRをスタート。
 町の商店街の空き店舗をリノベーションし、家具ギャラリーを整備する。
 2021年：累計9名の技専校OBを協力隊として受け入れ。木工による地域おこしを継続中。

↓ リノベーションした協力隊の工房



空き店舗を家具ギャラリーに↓



これまでの取り組み



↑ 地域材を活用した商品開発

**地域の木を
地域で使うから
地域の森が守られ
持続可能な脱炭素化**

事業内容

持続可能な 森の6次産業化

の仕組み化をします

地域材を
地域内で
製品化して
炭素固定



**脱炭素
サイクル**

1次産業

育て・収穫する
(林業)

2次産業(上流)

木を貯める
(製材業)

2次産業(下流)

家具を作る
(家具製造)

3次産業

**地域内外へ
販売する**



事業内容 ②

①木エスタートアップ工房プロジェクト

- ・木工起業で若者の挑戦を創出
- ・「木工×〇〇」な働き方実現
(コワーキング型シェア工房による複業起業)
- ・地域材の未利用材を活用した
製品化による炭素固定



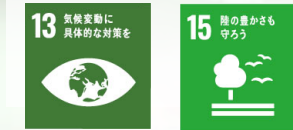
③木エファブラボ工房プロジェクト

- ・デジタルなものづくり拠点
3Dプリンター、レーザーカッター、NCミリングマシンetc.
- ・子供の創造性を育む場づくり
(10年、20年後のものづくり人材育成)
- ・地域間連携した教育体制
(企業や大学生インターンとの連携)



③地産地消の森づくりプロジェクト

- ・森林データベース化
- ・地域広葉樹製材所の整備
- ・人材育成(自伐型林業、製材業)
- ・間伐材、林地残材の活用



④インキュベーション拠点プロジェクト

- ・アイデア、知識、技術の集積
- ・大学生インターン事業
- ・企業のサテライトオフィス機能
- ・業界、地域を越境した繋がり創出
- ・町内での新規事業を生み出す



※上記事業は状況により寄附いただいた企業様へご相談の上、追加・変更となる場合があります。

得られる 成果等

若者の雇用創出

地方で挑戦する
若者の移住定住
雇用創出を実現

脱炭素

製品化で炭素固定&
森の若返りを実現して
CO2吸収効果を保つ

子供の創造性創出

未来のものづくりを担う
地域の子供たちの
創造性を育てる

つながり創出

木工・ものづくりを軸に
人が集まり多様性のある
つながりを生み出す

新規事業創出

多様な関係性から
イノベーションを生み
新たな事業を創り出す

企業の みなさまに 求めるもの

【企業の皆さまにお願いしたいこと】

▶ **企業版ふるさと納税での寄附協力**
(地方創生事業の財源)

寄附をする メリット

【企業の皆さまのメリット】

- ▶ **上松町Webページでのご紹介**
- ▶ **脱炭素事業への参画、貢献のPR**
- ▶ **新規事業展開へのつながり** (インキュベーション拠点への参画)